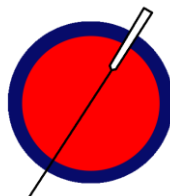


ACUPUNCTURE

GIFU ACUPUNCTURE & MOXIBUSTION ASSOCIATION

報告—連絡—情報誌

平成 29 年度 第 2 号 (通算第 184 号) 平成 29 年 10 月 31 日発行



一般社団法人 岐阜県鍼灸師会

〒505-0041 岐阜県美濃加茂市太田町 1954-2

事務局 : TEL/FAX 0574-26-6116

URL : <http://gifu.harikyu.or.jp/>

E-mail : hari-q@fsinet.or.jp

【E-mail アドレス登録のお願い】

E-mail アドレスをお持ちの先生は、アドレスの登録をお願いします。会報誌「ACUPUNCTURE」や鍼灸師会のお知らせなどを E-mail で素早くお知らせできるようにします。

登録方法は、(一社) 岐阜県鍼灸師会ホームページより一番上にある「お問い合わせ」に入ってください、お名前、アドレスをそれぞれ入力して送信してください。

ご協力、よろしくお願いします。

【全国大会 in 大阪】

報告者 会長 林 浩一

今年の全国大会は10月8・9日に大阪の「マイドームおおさか」で開催されました。大会テーマは「大大阪フェス」「伝統医療の振興」と銘打ち行われました。

大阪での開催は10年ぶりとの事で、お祭り気分満点でした。受付を終えのサプライズは、なんと！「たこ焼」の無料試食でした。とてもおいしかったです、大阪府鍼灸師会の先生方が徹夜で準備に当たったという事でした。

8日の初日は、各部長会議を中心に行われ、午後より参議院議員片山さつき先生、大阪大学大学院特任教授 伊藤嘉記先生、(公財) 未来工学研究所 小野直哉先生方による特別講演を仲野会長によるコーディネートで行われました。片山さつき先生からは「皆様の味方として粉骨砕身努力してまいります」との力強いお言葉を頂き伊藤嘉記先生よりは大阪大学病院附属病院で行われて来た統合医療の臨床研究のいくつかをご紹介いただきました。小野直哉先生は「社会モデル」としての統合医療を概説して頂き、鍼灸と鍼灸師の可能性を語って頂きました。

翌9日は、認知症サポーター講座、委員会講座として、地域ケア推進委員会 危機管理委員会 東京オリ・パラ委員会、等。

一般講座として婦人科・不妊講座 ホスピタリティー講座 一般口演等一般臨床鍼灸師からの講座が開催されました。

来年は、10月27・28日(土・日)に沖縄県那覇市にて第14回全国大会 in 沖縄が開催される予定です。来年に沖縄旅行を考えている先生は、是非、この間の旅行をご検討ください。

【全国部長会議】

◆学術部長会議

報告者 学術部長 高田 幸枝

10月8日に開催された第13回日本鍼灸師会全国大会 in 大阪にて各師会から34名の学術部長(代理含む)が集い、約4時間に渡り会議が行われました。

議題は(1)平成29年度事業計画の件(通常総会資料より)。(2)研修事業アンケートと平成30年度研修事業計画案。(3)第14回日鍼会全国大会沖縄大会の件。(4)第9

回スポーツフォーラム埼玉県の件。(5)質問・要望書への回答などでした。その中で日鍼会が主催する学術講習会では、今後2月4日山口県にて、2月11日大阪府にて開催されるので是非ご参加をお待ちしているとのことでした(詳細は日鍼会HPをご覧ください)。

昼食後、「研修のあり方」の提案として日鍼会から基本方針と中長期ビジョン(案)が報告されました。それに対して各師会からの意見交換会が行われました。各師会においても会員数の減少は大きな問題となっており、最終的には全日本鍼灸学会、全日本鍼灸マッサージ師会、学校協会の4団体と連携・協力して研修会を開催する方向も案としてあるようです。それらを踏まえて今後の日鍼会や各師会における学術講習会も変革期にきているように思いました。

今回私は会議に初めて参加しましたが、日鍼会がどのような方針で学術部を運営していくのか方向性を確認することができました。当会においても予算の関係で多くの学術講習会を開催するのは難しいかと思いますが、会員の資質向上のためにも医療連携をしながら多方面にわたる講習会を開催していきたいと思っています。

◆青年部長会議

報告者 青年部・組織部長 森 智弘

平成29年度の全国青年部長会議に出席いたしました。今回は昨年9月11日に行った「お灸フェス in 岐阜」の実施報告を発表する機会を与えてくださったので、当日の様子やこの事業が青年部の活動再開のきっかけになったこと、運営ノウハウを学べたことなどをお話しました。各都道府県の報告では会員の減少、40歳以下がない為活動が難しいと言った問題点を挙げられ、会員数の多い都道府県でも厳しい現状なんだと実感いたしました。

今後は青年部の活動を継続して行う事が出来るよう協力していければと考えています。

◆広報・普及部長会議

報告者 副会長・広報部長・IT委員 藤吉 徳孝

10月8日(日)、日本鍼灸師会全国大会初日、全国広報・普及部長会議に出席してきました。全国大会同日という事も有り、21師会24名が出席しました。事前アンケートにより、事業報告・事業計画について。かなり多くのイベント等を行っている師会から、ほとんど行っていない師会まで様々。岐阜県は、それほど多くの活動があるわけではありませんが、他の師会の内容を見ますと、思ったより活動していると思います。広報紙は、岐阜県は会員向けに年3~4回ほど発行しておりますが、これも少ないわけではありません。他県では、一般向けに冊子やポスターを作成しているようです。どの師会も、原稿集めに苦労しているようです。岐阜県はそれほど内容があるわけではありませんが、原稿はかなり限られた会員のみが出しているのが現状です。ぜひ、何かあるのであれば多くの会員が作成に関わっていただくと有り難いと思います。

注意事項として出た議題ですが、院内の音楽について。有線等有料の音楽を院内

で流している分には問題有りませんが、CD等で音楽を流している場合、著作権の問題でJASRACに使用料を支払わなければなりません。電話での問い合わせもありますが、実際にJASRACの方が院に出向き、音楽が流れていた場合料金を徴収されるという事があるようです。基本的には医療機関での使用は認められておりますが、区分として鍼灸院は医療機関となっておりませんので、著作権使用料が発生します。鳥の声や水の流れる音、50年以上前の音楽は問題有りません。但し、英語の歌詞が日本語になっている場合は、日本語になってから50年以上経過しないと著作権使用料が発生しますのでお気を付け下さい。

広告については、現在ウェブサイトは広告規制から外れておりますが、今後一部規正が掛かってきます。よくある「個人の感想です」は認められなくなりますのでお気を付け下さい。

【第32回長良川国際トライアスロン大会ボランティアサポート】

報告者 井藤 正智

平成29年7月30日(日)、第32回長良川国際トライアスロン大会ボランティアサポートを行いました。スタッフは12名(有資格者)のうち、岐阜県鍼灸師会会員は1名。気温29℃(7:00)、天気は雨。例年に比べ、比較的涼しい中での競技会となりました。天候が雨ということもあり、前半は競技を終えてすぐに帰られる方がほとんどでした。後半からは徐々にマッサージを利用される方が増えました。

延べ89名の方が利用され、アイシングのみの方が14名。マッサージのみの方が63名。両方とも利用された方が11名でした。

雨が強かったこともあり、熱中症などのリスクも低く、安全にサポートを終えることができました。

今年は、はじめて学生無しでのサポートでしたが、準備やアイシングなどには学生が欠かせないため、今後もボランティアの協力をお願いします。



【岐阜スキンタッチ会 活動報告】

◆第3回親子スキンタッチ教室

報告者 青年部・組織部長 森 智弘

平成29年9月3日（日）に岐阜市徹明公民館にて第3回親子スキンタッチ教室を開催しました。今回は、徹明公民館2回目という事で、前回参加して下さった方もお越しくございました。参加人数が計8名と少人数での教室となりましたが、その分、一人一人丁寧に教えることが出来ました。今回からスライドでの座学も取り入れました。説明の最中に遊んでいたお子さんも注目して見るようになったので取り入れて良かったと思います。

来年度は、高山市・関市・岐阜市での開催を予定しております。ご興味のある方は、是非一度ご参加ください。



◆平成29年度親子スキンタッチ教室活動報告

報告者 普及部長 松浦 朱里

昨年度から、準備をしながら取り組みを始めました「親子スキンタッチ教室」は、今年度の予定を終了しました。今年度の開催は、5月28日・7月9日・9月3日の3回、いずれも日曜日開催でした。参加人数は以下の通りです。

・10:00～11:30 ・参加費 500円	5月28日 岐阜市 徹明公民館	7月9日 美濃加茂市 生涯学習センター	9月3日 岐阜市 徹明公民館	合計
保護者	7名	17名	5名	29名
子ども	7名	17名	3名	27名
計	14名	34名	8名	56名
スタッフ人数	6名(会員4名)	4名	4名	—

数字だけ見ると安定していないので、来年度に向けて不安が残りますが、その場所、その場所で良いところ、悪いところが見いだせたので良かったのではないかと思います。開催にあたり、気をつけたことは次の点です。

- ・スタッフTシャツを黄色にしてあまり暗い印象を与えないようにしたこと。
- ・1名のスタッフが話すのではなく会話調にしたこと。

- ・小児はりのデモを自分の子どもで行うこと。

まず、第1回目の岐阜市徹明公民館は、知り合いや患者さんに声をかけて集まりました。チラシの集客は0でした。スタッフは、会員4名、会員外2名の6名で開催しました。初めての教室ということで、不慣れな部分もあり台本通りにいかない部分もありましたが、やり終えました。第1回の反省点は以下の通りです。

- ・BGMが無かったため、全体的に静かな雰囲気になった。次回から音楽が必要。
- ・縦長の部屋を横に使うと、参加者との距離が近くなり良いのでは。
- ・徹明公民館は8組が限界。
- ・駐車場・会場案内を明確にすること。

第2回目の美濃加茂市開催は、チラシを置いていただけたことで参加されたり、美濃加茂市在住の塚本先生の知り合いの方も参加していただきました。人数が集まるか心配しておりましたが、参加人数は3回開催した教室の中で最多の合計34名でした。前回の反省を踏まえ、BGMを流したり、会場までの案内を明確にしました。人数も多かったせいか反省点が出てきました。第2回の反省点は以下の通りです。

- ・人数が多くて冷房を強めたが、「寒かった」という意見をもらった。
- ・人数が多く、説明する声が後ろに聞こえづらいのでマイクが必要ではないか。
- ・スライドがあった方が良い。
- ・スキンタッチのデモで参加者にスプーンを渡しておくと言明時に真似出来る。
- ・実技の時に小児はりを見てもらうのも良いのではないか。

第3回目は、再び岐阜市徹明公民館で開催しました。前回の反省点を踏まえ、分かりやすい駐車場案内と、節明治のスライドを作成しました。参加人数は、4組8名と少人数でした。少人数の開催は初めてでしたので不安がありましたが、スタッフと参加者の距離も近く、参加者が質問しやすかった印象があります。各個人に向き合えたので満足度も高かったように思います。第3回の反省点は以下の通りです。

- ・同年度2回目の開催は集まりにくいので、毎回の開催場所を変える。
- ・公民館は0~2歳児向け乳幼児学級があるので、それに併せチラシ作成・配布。
- ・スライドは空気が変わって良かった。飽きが来ない。
- ・決めごとを迅速に決定するため、スタッフ間のやりとりを迅速にする。

全体を通して、スキンタッチに興味を示した人が割と多かったことが嬉しく思いました。それぞれの場所で反省点もあるので、今後続けていくには広報ぎふ等公的な場からの発信も必要と感じました。それによりもっと多くの方へ周知してもらうことが出来ますし、もっとスキンタッチが子ども達の発育に良いということが広ま

ると思います。

最後に、来年度の開催予定です。7月高山市、11月18日（日）関市、2月岐阜市にて開催出来たらと考えております。開催地区近辺の先生、開催当日のお手伝いが出る、院内にチラシを置かせていただける等、ご協力いただけるようでしたらご連絡ください。

随時、岐阜スキンタッチ会では、スタッフを募集しています。ご興味をもたれた先生は、058-264-7657までご連絡ください。

報告者 青年部・組織部長 森 智弘

第2回・第3回の親子スキンタッチ教室に参加しました。子どもの声が会場内に響き、収支和気藹々とした雰囲気印象的でした。

参加者の方に後日、家でやった感想を聞いたところ、「子どもが暴れてうまくできない。」との事で、教室後のフォロー体制や事業の継続が必要なんだろうと感じました。

来年以降も事業に関わっていきたいです。

報告者 副会長・広報部長・IT委員 藤吉 徳孝

普及部長である松浦朱里先生を中心に数名の先生で、昨年度より準備をしてきました親子スキンタッチ教室を、今年度無事に終わることが出来ました。開催までの数ヶ月、徳島県で行われているスキンタッチの台本をもとに、教室やイベントのDVDを見ながら台本を作り、必要な備品を準備し、スタッフが着用するTシャツのロゴをデザインし、プリントも自分たちで行い、毎月会議や練習会を重ねてきました。不慣れで至らない点があったと思いますが、初年度の活動としては、まずまず良い出だしになったのではないかと思います。

今年度の3回の教室を終えて、まだまだ改善すべき点は多々あると思いますが、参加者の皆さんにも楽しんで学んでいただけたのではないのでしょうか。教室をやっている、スキンタッチのような健康法はかなり需要がありますし、必要としている人が多くいるのではないかと感じました。スタッフで参加していただいた先生方もみな一生懸命動き、色々な役割を行いながら、そしてスタッフ自身勉強しながら楽しんで出来たのではないかと思います。

今年度の教室は終わりましたが、今年度の反省を踏まえ、既に来年度以降に向けて動き始めております。まだ、はじめの一步である今年度の活動が終わっただけです。今後、どう継続していくか、どう運営していくのか、どう教室作りをしていくのか、大きな課題となります。来年度は、高山市・関市・岐阜市での教室開催を予定しております。更に、今後は岐阜県内各地で教室を行い、スキンタッチを県内に広めていき、子ども達対象のスキンタッチから少しでも鍼灸の啓蒙になればと考えております。

今年度参加されなかった先生方も、「自分もやってみたい。」、「自分の地区でも教室を開きたい。」等有りましたら、遠慮なくぜひご参加ください。

報告者 伊藤 友一

スキンタッチのイベントに第1回、第3回と2回参加させていただきました。第2回的美濃加茂の時は、時間の都合上参加出来ず、時間や日程において、無理を言わせていただいていたこともあり、他の先生方にご迷惑をかけながら参加しています。

小児の健康と言う観点から、スキンタッチに興味を持たれている方が非常に多い印象を受けました。

お子さんが小さいと、なかなか話に集中できなかつたり、実技の際に手間がかかったり、ぐずったりとスムーズにいかないこともしばしばありましたが、子どもを対象にしたイベントのため、皆さんに理解して参加していただいております、運営としてはやりやすく感じました。

子どもが強く・健やかに育つと言うことはすべての親の願いだと思いますし、そこに鍼灸が関わっていけることは、鍼灸師として一つのやりがいにもなっていくのではないかと考えています。

今後もこのイベントが続いていき、一般の参加者はもちろん、同じ鍼灸師の中でスキンタッチを広めていくことができれば、より多くの方に知ってもらうことができ、岐阜でも小児鍼・スキンタッチを根付かせることができるのではないかと思います。

報告者 塚本 藍子

7月開催の美濃加茂市の教室に参加いたしました。10組のご家族にご参加いただき、大変にぎやかな教室となりました。帰宅後に、参加されたお子様から「スキンタッチしてほしい。」と言われたと、保護者の方から聞きました。お子様やご家族の健康のために、多くの方にスキンタッチを取り入れていただきたいと感じ、来年度も参加させていただきたいと思っております。

◆◆◆岐阜スキンタッチ会スタッフ募集のお知らせ◆◆◆

**スタッフ
募集中!**

岐阜スキンタッチ会では、一緒に活動できるスタッフを募集しています。スタッフは未就学児がいる鍼灸師も活躍しています。もちろん親子スキンタッチ教室にも一緒です。今後も継続的に行っていきたい活動のスキンタッチを、ぜひ一緒に広めていきませんか？子供が大好きな方、教室を通して自身も成長していきたい方等、やる気のある

方は大歓迎です。スタッフ間の連絡は、迅速に行うためLINEにて行っています。皆様と活動できることを楽しみにしています。よろしくお祈いします！！

(問い合わせ 担当理事 松浦 TEL:058-264-7657)

【熊本県被災地支援活動 活動報告】

報告者 理事 小椋 賢二

今年の春、福岡県鍼灸師会の仲嶋隆史先生より、熊本・大分地震災害から約1年半が過ぎ、人々の意識から風化されつつあるなか、未だに被災地域では仮設住宅の生活を余儀なくされている人々がいて、そこで、鍼灸師、鍼灸マッサージ師が被災者のケアをしている事を教えて頂きました。私は、この話を聞くまで分かりませんでした。実際に熊本市の被災者仮設住宅（南区城南町藤山仮設住宅）に伺うと、被災者が長期に亘って苦しんでいる事を目の当たりにし、災害時の多職種連携について鍼灸師として学ぶ必要性を感じました。

1泊2日で熊本市の被災者住宅街に伺いましたが、夜には、熊本県鍼灸マッサージ師会会長をはじめ、熊本県で鍼灸院、鍼灸マッサージ院を営む先生方がご親切にも懇親会を開いてくださり、非常に暖かいおもてなしを受けました。

我々の職種が、多くの被災者に寄り添い、また、被災者のケアを長期に亘って行う事で世の中の為になるという事を実感し、また、その必要性を感じてきました。

今後、いつ発生するか分からない災害について、他人事ではなく、いざと言う時に備えて、多職種連携ができる体制づくりが必要と思いました。

この度の機会を頂きました日本鍼灸師会堀口正剛先生、福岡県鍼灸師会仲嶋隆史先生、熊本県鍼灸マッサージ師会高橋武良先生、黒田亘史先生、熊本市鍼灸マッサージ師会草川正規先生等、お世話になった先生方に心より感謝申し上げます。

報告者 副会長・広報部長・IT委員 藤吉 徳孝

9月23・24日の2日間、当会会員の小椋賢二先生、萱垣隆史先生、私の3名が、(一社)熊本県鍼灸マッサージ師会さんご協力のもと、熊本県熊本市にあります藤山仮設住宅にて被災地支援活動を行いました。今回は、岐阜県鍼灸師会としては初めての被災地支援活動となりました。

今回活動しました藤山仮設住宅は、熊本市の市街地より車で1時間ほど離れた場所です。市街地は平常を取り戻しておりますが、仮設住宅にお住まいの被災者の皆さんは、大きな苦勞・苦悩を抱えておられます。その中、2日間の活動を通して被災者の生の声を聞くことで、テレビ等から流れてくる情報だけでは見えないものを見ることが出来ました。

これまで、熊本県や福岡県の鍼灸師の先生方がつないできた支援事業ですが、こうした住宅ではまだまだこういった支援活動が必要であると感じました。2日間の活動で延べ人数37名（新規3名）と沢山の方が、鍼灸やマッサージを受けに来られました。腰や肩等の痛みの他、不眠や倦怠感等症状は様々でした。鍼灸やマッサージの他、小椋賢二先生が介護予防体操も行いました。体操では、手や足を動かすことから身体を動かすことまで、皆さんと和気藹々と楽しんで行っていました。スキッチ教室も行う予定でしたが、今回伺った仮設住宅には、小さなお子さんのいる世帯がほとんどいないため、行うことが出来ませんでした。

夜は、熊本県の先生方がお忙しい中、懇親会を開いて頂きました。地震直後の現

場の事や、現在までの活動、今後の活動についての話も聞く事が出来、有意義な時間を過ごす事が出来ました。

岐阜への帰り道、少し時間がありましたので熊本城に寄りましたが、本丸は囲いがあり見えず。周りの石垣はまだ崩れたままの状態、地震による被害の大きさを垣間見ることが出来ました。岐阜県では、まだまだ災害が少ないので、なかなか災害のことについてぴんと来ないかもしれませんが、他人事ではありません。当会としても災害が起きる前に、起きたときの準備が必要と感じました。

報告者 萱垣 隆史

被災地支援チームとして、小椋先生、藤吉先生と共に熊本の仮設住宅へ治療ボランティアに行っていました。

鍼灸治療とマッサージ施術を2日間に渡り仮設住宅の方々に行いました。被災者の方々は長期における生活の中で色々なストレスに晒され、身体的、精神的にも様々な不定愁訴があるようにみえました。

熊本地震から約1年半が経過しておりますが、現地ではまだ倒壊した建物がそのままだったり、1年以上も仮設住宅での生活をされている方も沢山いらっしゃいます。テレビでの報道もほとんど無くなり、現状がどうなっているのか知る手段は少ないと思います。

ある方から、「どうしても狭い空間で過ごしていると、気持ちも暗くなりがち、だからなるべくみんなを集めてお話ししたり、明るく笑顔を絶やさないようにしている。」とおっしゃっていました。私が触れ合った方はこの仮設住宅に住んでみえる方々がほんの一部の方でしたが、皆様明るく、楽しそうに過ごしてみえました。しかし、その裏にある苦労、苦悩は本当に計り知れないものだと思います。

東日本大震災もそうですが、どうしても時間と共に遠く離れている人達の記憶から風化されがちだと思います。今回、実際に現地へ入り、触れ合うことでまだまだ復興中であり、様々な業界の方も大変な思いをされていることを再認識することが出来ました。

今回私達が行ったボランティア活動は本当に少しのお力添えにしかならなかったかもしれませんが、様々な分野の方々が、この少しを意識して行えば、それは莫大な力に、支援になるのではないかと思います。今、自分達が出来ることがないかな？今一度、考えてみるのもいいかもしれませんね。



【岐阜県鍼灸師会学術研修会のお知らせ】

テーマ：「疲労回復をめざす」

講師 (一社)岐阜県鍼灸師会顧問 南谷 旺伯先生

日時：平成 29 年 11 月 5 日 (日) 10:00～11:30

会場：岐阜県鍼灸マッサージ師会館 2 階

岐阜市末広町 78-4 電話 058-265-2830

参加対象：どなたでも

参加費：無料

参加申込は不要です。時間までに会場へお越しください。

【平成 29 年度三県合同鍼灸研修会について】

開催日：平成 29 年 11 月 19 日 (日)

会場：アスト津 4 階会議室 1 (〒514-0009 三重県津市羽所町 700)

参加費：会員 4,000 円 会員外 5,000 円

学生部員 1,500 円 学生 3,000 円

参加申込：①氏名 ②所属 ③連絡先 ④参加区分 ⑤懇親会参加の有無

以上を 11 月 2 日 (木) までに三重県鍼灸師会事務局までお申し込みください。

FAX：059-226-3221 または mail：harikyu_mie@vesta.ocn.ne.jp

取得単位：この研修会は「6 単位」です。必ず「GK カード」をご持参ください。

※参加申込書は最後のページに掲載しています。印刷してご使用ください。

プログラム

第 1 部 11:00～12:40

「災害時における鍼灸師会の取組みと現場で求められる活動」

(一社)三重県鍼灸師会会長 一見 隆彦先生

(一社)和歌山県鍼灸師会会長 萩野 利赴先生

第 2 部 13:30～14:30

「災害現場における医療連携の実際」

ウイスコンシン医科大学教授 統合医療クリニック徳院長 高橋 徳先生

第 3 部 14:40～16:10

「災害発生～避難所でのシミュレーション」

高橋先生に災害現場ドクターになっていただき、グループ別にして実施予定
ファシリテーター (JIMTEF ベーシック & アドバンスコース修了者)

.....

意見交換会 (懇親会) 16:30～18:00

会場：ホテルグリーンパーク津 1F 「ルーベル」

参加費：5,000 円

※座席に限りがあり、参加希望の方は事前にご連絡いただきますようお願いいたします。

【平成 29 年度日本鍼灸師会介護予防スキルアップセミナー in 岐阜】

平成 29 年度の総会を経て決定しました。なお、参加人数が 30 名に満たない場合は開催しません。

詳細は、15 ページに掲載しております。そちらをご覧ください。

開催日：平成 30 年 1 月 21 日（日） 10:00～

会 場：JR 岐阜駅前じゅうろくプラザ 小会議室 2

受講料：日鍼会養成講座受講者 3,000 円

他団体養成講座受講者 4,000 円

日本鍼灸師会会員 4,000 円

会員外 5,000 円

学生 2,000 円

既に介護予防運動指導員の認定を受けている方のみならず、これから地域や治療院内で介護予防運動の取り組みを考えている方は、是非ともこの機会に受講してください。また、地域包括ケアシステムに参入する為にも必要な知識であると考えています。

【厚生労働大臣免許保有者証について】

必要な方は、（一社）岐阜県鍼灸師会事務局にお尋ねください。

公益財団法人東洋療法研修財団 公式サイト <http://www.ahaki.or.jp/>

【日本鍼灸師会メールマガジンにご登録お願いします】

（公社）日本鍼灸師会メルマガ登録 WEB ページ

<http://www.harikyu.or.jp/mailmagazine/index.html>

登録後、登録の有無がメールで返信されます。登録後に必ずご確認ください。

【使い捨て鍼の医療廃棄物処理委託】

医療廃棄物処理法の改正により、「会」で回収が出来なくなりましたので、各個人、各治療院で、下記団体に加盟されている感染性廃棄物処理業者と個人契約をし、使用鍼と衛生材料（綿花等）の医療廃棄物処理をお願いします。

業者は、県内各地にありますので、下記ホームページで閲覧してください。

岐阜県産業環境保全協会 <http://www.gifu-hozen.jp/>

岐阜県産業環境保全協会で検索し、処理業者の検索をクリック。「特定産業廃棄物」を選択、「地域」を選択、「感染性廃棄物」を選択、収集運搬にチェックを入れ検索すると、お近くの専門業者が分かります。

【使い捨て鍼の医療廃棄物処理委託後の「罰金」に注意してください】

はり等の（医療）廃棄物に関して、平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日の廃棄分の報告を、翌年度の 6 月 30 日までに「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」を提出する義務があります。

業者によっては、この報告書を作成してくれるようですが、ご自分で作成しなければならない業者も希にあるようです。怠った場合は、30 万円の罰金が科せられますので、十分ご注意ください。

岐阜市ですと、岐阜市役所の「緩急事業部産業廃棄物指導課」に提出ですが、詳細等、正しくは各市町村役場担当課にお尋ねください。

【年会費納金のお願い】

副会長・会計・共済 山田晃三

▼年会費の振込用紙はゆうちょ銀行窓口で貰ってください。

ゆうちょ銀行口座番号（青色用紙）：00830-8-83446

口座名義：一般社団法人岐阜県鍼灸師会

納付期限	全期一括の場合	44,000 円	6 月 30 日まで
	分納の場合 前期分	24,000 円	6 月 30 日まで
	後期分	20,000 円	11 月 30 日まで

期日厳守で納付の方をお願いします。

会への質問、ご意見、ご要望等は（一社）岐阜県鍼灸師会ホームページ又は直接事務局へお問い合わせください。TEL/FAX 0574-26-6116

第51回愛知・岐阜・三重 三県合同鍼灸研修会

平成29年11月19日(日)

【参加申込書】

FAX 059-226-3221

住 所 _____ TEL _____

氏 名 _____

所 属 _____

■参加費 ※以下に○印をつけてください

- | | |
|---------|-------|
| 1. 会員 | 4000円 |
| 2. 会員外 | 6000円 |
| 3. 学生部員 | 2000円 |
| 4. 学生 | 3000円 |
| 5. 懇親会 | 5000円 |

※今回、昼食のご用意はございません。会場周辺の飲食店をご利用いただきますようお願い申し上げます。

*その他不明な点は三重県までお尋ね下さい。

(一社)三重県鍼灸師会事務所

TEL 059-227-3345

介護予防運動スキルアップ講習会

高齢者の「筋力及び全身機能向上トレーニング法」指導研修
平成30年1月21日 じゅうろくプラザ 3階 小会議室

10:00 から 11:30

認知症サポーター養成講座
受講後オレンジリング贈呈
参加費無料

12:30 から 16:20

老年症候群・フレイル関連情報
介護予防筋力運動予防実技
地域ケアシステム関連情報

お申し込み

誰でも参加可

下記の申込書に必要事項を記入して
日本鍼灸師会事務局にFAX又は郵
送してください

FAX：03-3985-6622

受講料

日鍼会養成講座受講者：3,000円

他業者養成講座受講者：4,000円

日鍼会会員：4,000円

会員外：5,000円

学生：2,000円

東京都豊島区南大塚 3-44-14

スキルアップ研修会申込書

氏名ふりがな：

住所

電話番号：

メールアドレス：

・介護予防指導員の資格 あり・なし 資格ありの方は登録番号
()

・介護予防運動指導員以外の方

日本鍼灸師会 一般（お持ちの資格）

学生

送信先 FAX：03-3985-6622（日本鍼灸師会事務局）